

# 「TPP反対」つらぬくことこそ地域対策 せたな町議会主催のシンポで紙議員

檜山管内せたな町で10月30日、「TPP交渉に関するシンポジウム」が開かれました。紙智子参議院議員が与野党の代表とともにシンポジストとして参加しました。

せたな町議会の主催で、住民や周辺町村の議員、自治体関係者、農協職員ら300人が会場につめかけました。

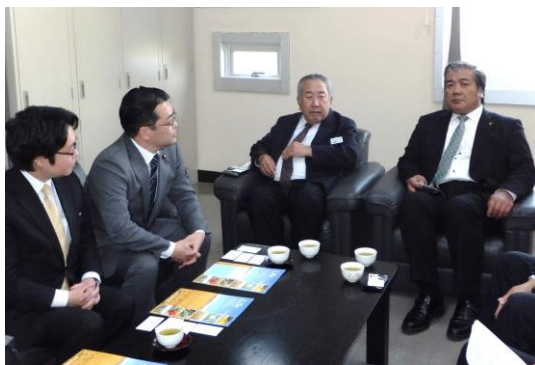
紙議員は、TPPが農業だけでなく医療、保険、食品安全など多くの分野で国民の利益を米国や多国籍企業に渡すもの、と批判。「大筋合意」といってもまだ内容は明らかになっておらず、今後も批准させないたたかいが重要だと強調しました。

農協婦人部の女性は『「大筋合意」の報道以来、もうだめかと思っていたが、今日は勇気をもらった』とフロアからの発言をしました。民主党国会議員、自民党と新党大地の道議会議員も出席しました。



シンポジウムで発言する紙議員(正面左から2人目)  
= 10月30日、せたな町

## TPP、国民連合政府で農協と懇談—畠山議員と森候補



とまこまい広域の松永組合長(正面右)らと懇談する、  
(左から)森、畠山両氏=10月29日、厚真町

畠山和也衆議院議員と森つねと道国政相談室長は29日、厚真町に本所がある、とまこまい広域農協の秋永徹組合長、楠野公夫代表理事専務、松原正明参事らとTPP、国民連合政府のよびかけで懇談しました。

秋永組合長はTPPの「大筋合意」について、「(国会で)決議をあげているのに、信じられない」「政府の説明もひどいごまかしですよ」と厳しく批判しました。

国民連合政府について秋永組合長は「共産党は純粹野党だ。独自カラーで行った方がいい。宮城県議選でも勝ったでしょう。勢いがある」と激励してくれました。

## 畠山議員、森候補が酪農・畜産調査

畠山和也衆議院議員と森つねと道国政相談室長は29日、30日の両日、TPPの影響調査で北海道庁、厚真町、安平町、北海道畜産公社、北海道漁連、道農民連、北海道森林組合への聞き取り調査と懇談を行いました。

安平町では、北海道養畜生産者協会の富樫儀禮会長が「(TPPは)漂流すると思っていた。裏切られた、残念な思いだ。『5品目を守る』という国会決議を守っていない。(内閣支持率18%の結果がでた)農業新聞(10月28日付)のとおりです。影響を過小評価しているのではないか。これでは日本の養豚はゼロになってしまう」と憤慨していました。



調査する畠山、森両氏=10月29日、安平町